

日刊工業新聞

THE NIKKAN
KOGYO SHIMBUN
9月28日 火曜日
2021年(令和3年)

TODAY

- 36 深層断面
 - 「再生エネ」主力化一途なし 第6次エネルギー基本計画が、今秋にも閣議決定される。焦点となった2030年度の電源構成では再生可能エネルギーの「主力電源化」を明示。ただ、再生エネの普及拡大には多くの課題が山積する。(JERAが台湾で参画する洋上風力)
- 13 オンライン教室のユーザー体験 イノビオット、千葉大と研究
- 15 データ分析一介護の質向上 SOMPO、自前でソフト
- 17 ガラス生産—プロセス革新 脱炭素化/日本板硝子など
- 18 サントリーHD、MR活用 海外拠点の技術支援
- 19 不動産一食・農業新モデル 街づくり・社会課題解決
- 23 オンラインのみの開催始まる 株主総会
- 34 中小向けIoT導入支援 コンピュートロン

- インタビュー
 - 11 ニクニ社長・大崎荘一郎氏
 - 15 AIメディカルサービス CEO・多田智裕氏
 - 23 八十二銀行頭取・松下正樹氏
 - 27 東京大学卓越教授・藤田誠氏
- 新連載
 - 09 車載電池—価格の行方
- 新型コロナ支援策 30・31面
- 大災害時のID発行について

大規模自然災害で印刷所からの新聞輸送に支障が生じた際は、月ごめ購読者に限り電子版が一時的にご覧いただけます。ウェブサイトhttp://www.nikkan.co.jpからお入り下さい。

日刊工業新聞社

www.nikkan.co.jp

TAIKO
Make a better flow
液体移送機器の総合メーカー
大晃機械工業株式会社
Member of HOLDINGS

ヤマザキマザック中国増産 中小型旋盤 大連を拡張

【名古屋】ヤマザキマザックは中国遼寧省大連市の工作機械工場を3割程度増床する。2022年9月ごろまでに本格稼働し、月産能力を現状の180台から33%増の240台に引き上げる。中小型旋盤などの既存機種を増産し量産部品向けの新機種も投入する。投資額は50億円。遼寧回族自治区銀川市の遼寧工場と合わせ中国での月産能力を15%増の450台とし、拡大を続ける同国の高級機市場を取り込む。

遼寧工場は生産子会社した。メイン工場棟でペースを増やす。同工場はコンピューティングセンター(MC)が13年に稼働しており、増築してスター数値制御(CNC)を得意とし、同社のベストセラー機「グイック・タイン200L」を日本にも輸出する。レーザー加工機も生産する。

既存製品は高性能CNC装置を搭載し、多品種少量生産向けが中心。品質や生産性向上、自動化を図る各種工場の需要も開拓する。部品メーカーから受注が急増している。新棟完成後はこれらを増産。さらに機能を絞り精度や生産効率を追求した量産用機種も複数追加。従来手薄だった大量生産用の大規模台追加。従来手薄だった大量生産用の大規模台追加。従来手薄だった大量生産用の大規模台追加。

土砂災害を高精度予測 地質・衛星 産総研が地図作製

産業技術総合研究所の観測データを統合。自治体で作る災害予測は豪雨や地震などによる土砂災害に特化した高精度の災害予測地図の避難情報の精度向上を製作する。従来の地形図に加え、構成する岩石の種類や地層の傾きなどの「地質情報」や人工衛星による地上

土砂災害の危険度を示した地図を作る。近年、豪雨をもたらす「線状降水帯」などに伴って、土砂災害が多発。崩れやすい岩の性質や地層の傾き、土壌や植生などが山崩れや土砂崩れなどの「斜面崩壊」の要因として挙げられる。高精度災害予測地図にはこうした複合要因を考慮する必要がある。現状では土地の標高や海岸、川などの情報を含んだ「地形図」から自治体で災害予測



受注が好調な遼寧工場

住設・工務店の承継支援 ナカザワがファンド

【南大阪】ナカザワワHDのグループ企業ホールディングス(大)として、成長を目指す大阪府和泉市、中津秀紀社長は、企業再生ファンドを立ち上げる。後継者問題に悩む中小の住宅設備会社や工務店の経営者に対し、譲渡を急ぐ場合の選択肢の一つとして同ファンドによる株式取得案を用意。スムーズな経営の引き継ぎで会社と雇用を維持し、企業価値を高めた後、最適な譲渡先を探る構想だ。さまざまな事情に応じた機動的な支援を実現できるのが特徴。場合によっては、ナカザワ

地質情報が考慮された新しい災害予測地図

地形情報 X
地質情報 X
衛星情報 X

災害予測地図に反映

(産総研の資料を基に作成)

米中対立の長期化やる。米議会の中国への経済の先行き、2050警戒感も頂点に達して0年までのカーボン二ある。米中のデカップ(効果リング(分断))は、ト

限りなく高性能、高精度、高品質を追求
多様化する建築物のニーズに応える
建築用防水シート
三ツ星ベルト
伝動ベルト/搬送ベルト/エンジニアリングプラスチック
発泡射出成形品/自動車用ベルト

「エネ移行」国際世論に力を

が高まり、価格は急騰は具体的に。「東南アジア諸国連合(ASEAN)全電

産業春秋

上半期が終わろうとには定期的に会談の場を設けてくださる要人取手と直接会って、会ったに刺言葉を交わしたことは、ほとんどない。モニタや電話を通してのり、全国に減少傾向。月た。書き上げた記事に内にも各種の制限が緩は相応の手応えもあるなってきた。そうならが、どこか不満が残る。リアルな取材も、じっくり話を聞く懇談も可能にしよう。東京の